被災地支援池田町民ネットワーク 第２次支援活動

被災地宮城県女川町へ大量の支援物資届ける

支援物資の配布を待つ人々

支援活動に参加して

■村端 徳子■

東日本震災から半年。念願叶って支援活動に参加させてもらいました。

夫は何回か行っているので、そのたびに話は聞いていても、自分の目で見て実感がわきました。やっぱり「百聞は一見に如かず」です。

女川では体育館の避難所にまだ60世帯以上が生活していてびっくり。瓦礫の山も放置状態、復興とはほど遠い状況でした。

最近はマスコミでも現地の様子はあまり報道されなくなっています。被災者だけが心に傷を負ったまま放置され、それでも頑張っている姿に、涙が止まりませんでした。

買い物袋を持った仮設住宅や近隣の住民がつめかけ、長蛇の列となりました。

とくに喜ばれたのは、米や野菜、毛布、布団、暖房器具。冬を乗り切ろうと懸命に努力する人々の姿が印象的でした。

■薄井 孝彦■

被災地支援町民ネットワークの取り組みは準備から支援物資届け、活動報告会まで本当によく練られた取り組みであったと思います。みんなで力を合わせれば、こんなに大きいことができる、池田町には素晴らしい力があると確信しました。この力を町づくりにつなげていければと思っています。

■山本 久子■

大勢の皆さんからいただいた義援金とトラック３台10ﾄﾝの支援物資を、女川の皆さんにしっかり届けてきました。

「津波で全部流されてしまい、生きていくことに精一杯」の中でも、女川町の皆さんは笑顔を忘れていませんでした。私たちに「ありがとう。助かります」と声がかかり、反対に励まされました。仮設住宅の入り口に咲く花々を見て「政治の力を被災地に！」との思いを強くしました。

ももこの健康教室

女脳、男脳とは

最近、老若男女を問わず「脳科学ブーム」が広がりをみせているようです。その動機は、認知症予防の訓練であったり、幼児教育に関連したものであったりとさまざまです。

ところで、「女性と男性の脳の違い」をご存じでしょうか。大きな違いは脳梁（のうりょう）の太さです。

脳梁とは、右脳と左脳をつなぐ神経線維の束で、これが女性のほうが太いのです。要するに、知覚された情報を右脳と左脳でバランス良く交信することに女脳は優れているというのです。女性があれこれと多面的に考えて行動する理由はそこにあります。

一方、男性の脳梁はやや細いため、一直線に目的に向かって行動する特徴があるそうです。女脳と男脳の違いをちょっと知っておくと相手の行動が理解できるかもしれません。

物事の表現方法も、男性は先に結論を言い、後でその理由を述べますが、女性は経過を長々話した後に結論を述べるので、相手はイライラすることになります。これも脳のなせるワザと考えたらいかがでしょうか。

幼児期に女児は目の前のおもちゃで遊べるのに、男児は先へ先へと行動することもうなずけます（冷蔵庫内の目前の食品を見る女脳、奥の食品の賞味期限を見る男脳も同じ）。

大昔から男は狩りをするためのDNAを持ち、遠くに行っても戻ってこられたのです。女は家族を守るために助け合いが必要で、集団での共同作業が必要でした。今の井戸端会議は女性のDNAがなせる技かもしれません。男性には結論から、しかも数値などを示しわかりやすく簡潔に話すと良いそうです。

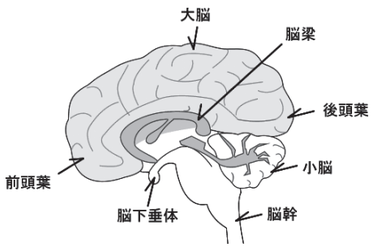

イラスト フリー素材「来夢来人」より

町は消滅、地盤沈下、がれき山積み
被災時とほとんど変わらない女川町のようす

延々と続くがれきの山

3・11東日本大震災の直後から継続的に支援活動を続けている「被災地支援池田町民ネットワーク」（矢口稔代表）が、10月21日から23日にかけて、第2次支援行動に取り組みました。寒さに向かう女川町では全町民のおよそ半数が仮設住まいを余儀なくされています。以下はネットワーク事務局長、村端浩さんの現地レポートです。

この寒い冬を乗り切れるだろうか…痛切な住民の声

震災からすでに8ヶ月になろうとするのに、女川町では避難所の総合体育館にはまだ数十名が不自由な暮らしを余儀なくされていました。

各地に点在する仮設住宅では、全く防寒対策が行われておらず、ようやく断熱材を貼り付けたり二重ガラスにするなどの国や県の対策が始まっていましたが、年内には終わらないというお粗末さ。2年後には仮設住宅を出なければならないとあって、多くの住民は今後どうしたらいいのかと不安を募らせていました。

がれき山積み まだ遠い町の再建への道

女川町でも隣の石巻市や三陸沿岸のどの自治体でも、がれきの片付けが急ピッチですすめられています。しかし、その処理は一向に進まず、町作りの青写真も緒に就いたばかり。また津波と地盤沈下とで壊滅した漁業や水産加工業の再建もままならず、このままでは町がなくなってしまうのではないかという危機感がどこでも感じられました。

池田町民の心こもる たくさんの支援物資

池田町民ネットワークは、第2次の支援活動を行うにあたって、10月7日から9日を中心に支援物資や義援金の提供を呼びかけました。

池田町内外の２００人を超える人々がこれに応え、会場のスペースゼロは米や布団、日用品などの支援物資であふれました。

支援物資の配布に 雨の中、長蛇の列

片付けが進む市街地

女川町での2会場での青空市はあいにくの雨。それにもかかわらず、時間前から

日本共産党池田ファンクラブ 定例総会・忘年会のお知らせ

ファンクラブ会員、ニュース読者のみなさん、日頃からのご協力に感謝申し上げます。

この１年間の活動を振り返りるとともに今後の方針を決めるため、次の通り定期総会を行います。

あわせて忘年会も行いますので、お誘いあわせてご参加ください。

日時　**12月４日（日）**
　　午前10時30分より午後２時まで
場所　**多目的研修センター（林中）**
会費　800円
主な議題
・2011年活動報告と会計報告
・2012年活動方針と予算の提案

※ 総会に引き続き忘年会を行います。歌や踊りなど楽しい企画があります。一品持ち寄り歓迎